

会 議 録（ 会 議 要 旨 ）

会議名	第 6 回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成 1 9 年 1 1 月 1 5 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 3 0 分まで
開催場所	4 0 3 会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委 員：加藤 敬成（小椋氏の代理者）、佐藤 達雄、金井 治夫、国田 正徳、斉藤 静子、茂野 宏美、高橋 薫、高橋 哲、中島 謙一、樋口 豊子、比留間 勉、藤井 敬宏、副市長（敬称略）</p> <p>事務局：企画財政部長、企画政策課長、樋口 雅秀</p> <p>（欠席者）</p> <p>委 員：牧野 和宏（敬称略）</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>（ 1 ）第 5 回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>2 議題</p> <p>（ 1 ）市内循環バスのあり方について</p> <p>（ 2 ）その他</p>
結論	<p>報告事項</p> <p>（ 1 ） 第 5 回検討協議会の会議結果について一部修正の上、決定した。</p> <p>議題</p> <p>（ 2 ） 第 7 回会議については 1 2 月 1 9 日（水）に午後 1 時 3 0 分から、第 8 回会議については、1 月 1 1 日（金）午後 1 時 3 0 分からも決定した。</p> <p>また、予備日として 1 月 2 5 日（水）午後 1 時 3 0 分からに決定した。</p>
審議経過 （ は会長、副会長 委員、 は事務局）	<p>報告事項 1 第 5 回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>事務局から「第 5 回市内循環バス検討協議会の会議結果」について説明。</p> <p>この会議結果で、何か御意見御質問はありますか。</p> <p>立川バスから神明について現状維持の方がいいとの意見があったと思うので、それをいれておいた方がいい。</p> <p>他に何かありましたら後日でも結構ですので、事務局へお願いいたします。</p> <p>議題 1 市内循環バスのあり方について</p> <p>第 5 回の協議会意見と市民要望を踏まえた上で資料をまとめさせていただいた。</p> <p>この地域にこのルートをひっぱっていくという中で、自由に意見をいただきたい。</p> <p>循環バスの考え方について、市としてコンセプトをどうするのかを考えていきたい。</p> <p>通勤・通学として、インフラがないことを重点においているのかなと思う。</p> <p>公共施設と福祉施設などをいかに補完するかということも必要である。</p> <p>前回の協議会において、通勤・通学ルートと公共施設ルートが一緒になっていたが、別々にしていただきたいとの話があったので、今回は、こういった形で示させてもら</p>

った。

通勤・通学と公共施設の2つがコンセプトとしていいのか、また、交通空白地域をどのように反映させるのかを決めた方がいい。

循環バスは施設を結ぶのかということであるが、交通空白地域を埋めるということで運行してきた。市としては、足の便の確保であることは変わらない。

最終的にはルートの線引きをして答申するので、この協議会で方向性を出していかなければいけない。

武蔵砂川駅は駅前広場を使う案なのか。

武蔵砂川駅の北側で止めるのか、ロータリーを使うのかは別の話で、武蔵砂川駅へ入るということで理解していただきたい。

武蔵砂川を使うのであれば、そこを利用して利便性を高めた方がいいと思う。

電車の時間に合わせたらとの意見もあることから、すべての本数とは言わないが、ロータリーへの乗り入れも考えてもらいたい。

路線ごとに詰めていって、潰せるところは潰せると思うので、ルートを一つずつ詰めていったほうがいいのかでは。

その他に市の案でバス停の位置が決まっていたら図面に落としてもらいたい。

市の南西部の人は玉川上水駅まで出られれば、多摩ニュータウンの方まで足を伸ばせてよくなるのではと思っている。

線路沿いのバス路線は渋滞がないので早く着けるのではと思う。

地域を見て、この地域に循環バスはそぐわないところを落としていって、その後、どこを通ったらいいのかを段階的に見ていくほうがいいのかと思う。

市の考えもあるが、民間バスとの違いを明確にする必要がある。

皆さんの意見から、通勤・通学をはずすわけにはいかなそうである。日中は市内の施設をうまく廻すことが必要である。使い分けをする必要があることは、委員の皆さんも認識していると思う。

通勤・通学ルートと公共施設ルートを別に運行したいと思うが、全く違うルートにしてしまうと運行しにくくなることもある。バスルートを設定し、バス停をどこに置くのかを考えると両方とも合わせながら見ていかないといけない。

資料にルート案が引かれているが、さらにもっといい案があるかもしれない。

昭和55年に導入した時、公共施設の結節として運行を開始したが、利用度が上がらなかったのも、何度も協議会を開催し、ルート改正を行ってきた。昔は3年ぐらい運行して赤字であれば止めてもいいとの話もあった。予算上では市税の伸びが見られないとのことから最小の経費で最大の効果をあげなければならない。補助金は今の額が限界である。現在も立川バスに負担してもらっているが、これらを含めて市民に喜んでもらえるルートを作っていただきたい。

ルートは引けるが、実際ダイヤを組んだとき、ルートを増やしていくと台数が足りなくなる。新車を購入すると今の補助金を超えてしまう。

DC が核となる。住宅開発もある。民間バスの変更もあるなどで、民間バスとの路線の重複も出てくる。全体を見直してスタートしたと思う。現行でできる計画は何かをおさえた上で、市民サービスとなるルートはどうかといったことを協議会の意

見として考えていきたい。

まず、この地域は必要であるというところを出してもらい、そこからルートに落とししていくといったことも考えていきたい。

運行間隔をつめてもらいたいとの声も確かにある。しかし、バスを増やさなければいけない。次のステップでは一緒に考えていかなければいけないが、ある程度のルートを引かないとそこに進めない。細かい見積は出さないまでもバスを増やす必要があるなどの話はしていきたい。

立川バスにこのルートのダイヤを引いてもらいたいなどの話をすれば、全体も見えてくると思う。

運転手に意見を聞くと、距離が長すぎることや渋滞の苦情が多いとの話を聞く。逆にダイヤを引いてもらったほうが良いと思う。

あと2、3回の協議会で形をなしていかなければいけない。

いつ頃までにこういったものを出していくのかを今後のスケジュールを含めて確認したい。

来年度の早い時期にルート改正したいと考えている。このため、年明け1、2月上旬には一定の方向性、原案まで持っていきたい。あと3回ぐらいで方向性は報告としていただきたい。

市長に答申したあとに変更となった場合はどうするのか。

市長との調整や市民の方の意見はどうするのか。

今回はパブリックコメントを行い、答申から一部変更して運行している。今回については、路線が固まった際に市民から意見を聴取し、決定していきたい。12月に方向性を出していかないとむずかしい。

停留所はどこにあるのかということも市民にとっては必要である。路線バスとの整合もとらなければいけない。

たしかに路線バスの意見聴取は必要である。バス連絡会を設けているので、案が出来次第、意見を聴取していくことは可能である。

年度を越えてはいけないのか。年度を越えてもジックリと取り組んでいったほうが良いのでは。

今後の状況によっては年度を越えることもあろうが、目標として年度内にということで行っていた。年度を跨ぐことが可能ですとは即答しかねる。

少なくともあと3回程度では結論を出すことは難しいと思うので、年度を越えてもという考えでいきたいが。

関係者との調整は年度越えになるかもしれないが、まず第一は市長にこういう案というものを答申すること。年度中には形のあるものを提示するというのをしなければいけない。

1月の頭で宿題を整理し、1月中旬にパブリックコメント案をつくり、意見が出た段階で最終の案をつくるというスケジュールでないとむずかしい。

来年の6月頃を目途という話は以前させていただいた。このため、2月までには方向性を出していただきたい。市民の意見としては、1月中旬から意見をもらい、まとめていかなければいけない。

運賃の話も議論していかないといけない。ハードな話になるが、1月の第1回目はパブリックコメントの前に協議会を開かなければいけないが、これには、12月には路線がある程度、固まった上で話をしていかなければいけない。

市の試算で予算や台数がクリアできているのか。その辺が検討されているのであればこれを一つの案としていけるのではと思うが。

市の試算は4ルートとしている。4ルートとすることにより黄色のルートは採算性がとれると思うので、新規路線として設定しようと考えている。他のルートについては予算的に可能であろうと認識している。台数は現在のバスで運行するのであれば日中や通勤時間に台数を集中させれば大丈夫であろうと認識している。

限られた予算でやることは賛成であるが、具体性の検討はどうしたらいいか。実際に走らせてみないとわからないが。

採算がとれるルートを設定すれば初期投資はかかるが、車両の新規購入もできるのではないかと。制限を設けてしまうと何もできなくなってしまうのではないかと。

初期投資をすることにより、逆に採算が上がるということも考えられる。検討の余地は残しておいたほうがいいのではと思う。

採算性がとれるということで、バスを増やすことは協議会の総意として決定していただくのはいいと思うが、市内では今のままで利便性を高めるという考えで行っている。

黄色ルートは黒字になるという計画を立てているようだが、民間バスの路線としては考えられるか。

黒字になるとは思わない。上北台に出た方が早いのではと思う。路線がないから何ともいえないが、この路線をつくった場合にどの程度人が流れるのかがわからない。立川駅北口から市役所のルートを変えるという話は出ているが、この黄色ルートは全くの新しいルートなので、路線バスとして走らせることは無理であろう。

料金の話で、運賃を玉川上水と武蔵砂川とを比べた場合に、なるべくお金を払わないで行くルートを使うと思う。

運賃の率を各バス会社で持っている。採算性を見た場合、100円均一では難しい。コミュニティーバスでも150円に賃上げしているところもある。

乗継を考えているようだが、乗継は無料にするのか。

基本的に運賃の乗継を考えている。乗継券を発行して差額だけを徴収するという方法もあるが、具体的な検討はこれから行っていく。

これらをキチンとやっていると時間がかかるし、お金は増やせない。現行路線ありきで少しずつ見直すという案もあるのではと思う。

今回の見直しは何を行うのかが明確になっていないような気がする。見直しの目的は。

第1回協議会でお示ししたが、検討の方針は、利便性等を考慮し、市全域の利便性をあげること。安全性を確保すること。特定地域の議論はしないことである。

DCに交通プラザができるということで、一度ルートを見直す必要があるということから始まった。周辺施設も連動するし、市民からの要望が多い地域や交通不便地域を通すといったことも考えながらまとめた結果が今回の資料のようになってきた。次

	<p>は制約条件を入れて、現状ルートを踏まえていくことも重要であるし、不便地域の解消も踏まえながら、次回検討していく。</p> <p>ルートを引いてみると長いルートも出てきてしまっている。メリットを考えた場合に仮説的な案をつくって、それをベースに運用できるかどうかを検証していきたい。案を2つぐらいに絞って次回議論していただくことでいかがか。</p> <p>オブザーバーとしてバス会社の人を呼んだほうがいいのか。また、庁内委員会の委員もオブザーバーとして入れた方がいいのでは。</p> <p>朝夕は通勤・通学、日中は公共施設循環を重くすればいいのではと思う。</p> <p>庁内委員会の事務局は私どもが行っている。委員会の委員長は企画財政部長が行っているため対応できる。また、運行主体である立川バスからオブザーバーとして参加してもらえればスムーズに議論ができるということなので、立川バスに話をする。</p> <p>次回、議論していくなかで事務局と相談させていただいて、もう1路線増やすなどを考えていきたい。</p> <p>次回、これでいけそうだという感覚がつかめれば、1月当初に協議会を開催させてもらって、パブリックコメントのあとにきちんとまとめなければいけないので、年を明けて3回ぐらいは開催しなければいけないかもしれない。</p> <p>次回は平成19年12月19日(水)に開催する。</p>
	<p>その他(次回協議会開催日程)</p> <p>第8回会議については、平成20年1月11日(金)午後1時30分から。</p> <p>また、予備日として平成20年1月25日(金)午後1時30分からに決定した。</p>

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; margin-top: 10px;"></div>	傍聴者： 2人
-------------	---	---------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令： <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令：)
--------------	---	---

庶務担当課	企画財政部 企画政策課 (内線：372)
-------	----------------------